

1階線形常微分方程式の 初期値問題

日時 **2023年11月4日(土)**
13:30~15:00

講師 **岡本 葵** 先生(大阪大学)

$$\frac{dy}{dx} + P(x)y = Q(x)$$

微分方程式は、未知関数とその導関数を含む関係式のことです。マルサスの人口モデルや波の伝播、熱の伝導など様々な現象の数理モデルとして現れます。微分方程式を満たす関数を解といい、解の定数倍や2つの解の和が再び解となる微分方程式を線形といいます。また、微分方程式の解のうち、ある点で与えられた値になるものを求める問題を初期値問題といいます。この講座では、現象から離れて、1変数の未知関数とその1階導関数のみを含む1階線形常微分方程式を数学的な視点から考えます。特に、微分方程式の基本的な解析手法について、1階線形常微分方程式の初期値問題を通してお話します。

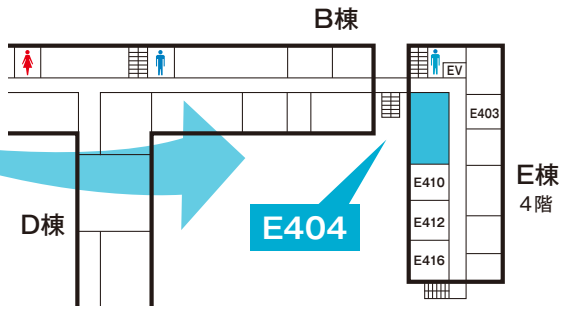
場所 大阪大学豊中キャンパス
理学研究科E棟 E404大セミナー室
(満席の場合、サテライト会場E301にご案内します。)

対象 高校生・一般

問い合わせ先 理学研究科 数学専攻事務室
E-mail: kouhou@math.sci.osaka-u.ac.jp



参加費は不要です。参加希望の方は右記のページにて登録をお願いします。



会場へは大阪モノレールの「柴原阪大前駅」、または阪急宝塚線の「石橋阪大前駅」が最寄り駅です。柴原阪大前駅から徒歩5分、石橋阪大前駅からは徒歩25分で着きます。